

東京都公民館連絡協議会職員部会 第 6 回（報告）

日時 令和元年 10 月 16 日 午後 2 時～午後 4 時

会場 中央公民館講座室 A B

出席者 ・小松（昭島市）・辻口（国立市）・増本（国分寺市）
・泉（狛江市）・山本（西東京市）・松浦（福生市）・高木（東大和）
・小磯（小金井）・佐藤、大村、瀧口（日野市）・細淵（小平市）

台風（10月12日）時の各公民館の対応について

9月18日に開催された職員部会研修会について

1 事務局より

- ◆職員部会ニュース 8・9月号の確認⇒OK
コラム、担当事業の担当順番 東大和、昭島市 11月22日（土）まで
- ◆東京都公民館連絡協議会企画委員会の報告
東京都公民館研究大会 全体テーマは決定
課題別集会のテーマの決定が急務 10月18日（金）までが提出期限

2 9月の職員部会研修の振り返り

小磯：円卓の研修は初めての体験だった。講師のお話が参考になった。
山本：円卓はすぐに講座で取り入れた。各市の取り組みも伺えてよかった。
細淵：円卓の研修は初めてで参考になった。それぞれの立場のお話が聞けた。
辻口：それぞれの事例発表がとても参考になった。
小松：ワールド・カフェ方式は距離が近く良かったが、勉強が必要だった。
泉：ワールド・カフェは距離の近さとあたたかな感じが良かった。
高木：各市の取り組みの特徴がわかったのがよかったと思う。
大村：円卓方式はおもしろい。他市の現場の話や岩松先生のお話がよかった。
佐藤：各委員がてきぱきと役割を受けていただけたのがよかった。
増本：事例発表することで勉強になった。根っこが共通していることは大切。
松浦：事例発表することで勉強になった。ご意見もいただけてよかった。
伊東：体験を共有できたことが意識の共有化につながったのはよかった。
岩松：ワールド・カフェは、円卓（えんたくん）方式でなくてもいいのだが、説明がいたらなかったかもしれない。お互いのつながりに役にたてたら幸いである。

3 東京都公民館研究大会・課題別集会の概要決定

事務局 テーマに関する意見集約で、顧問や複数の職員から「災害と公民館」があがっている。それとあわせて「障がい者学級」、「地域デビュー」講座、今日的な「生活課題」をテーマとする取り組みなどが候補としてあげられた中、岩松講師からは国立市の「KUNIBO」の事例も紹介された。その後、今回の台風などもあり、「災害と公民館」は有力な候補ではあると思われる。

顧問 台風時に各公民館の対応がどうであったか、には関心がある。また、住民が公民館や職員に何を期待していたか、も気になるところだ。

講師 国立の「KUNIBO」の事例は日本語教室との連携という点で、公民館的な事例と言える。また、千葉の公民館が今回の被災の際、かなり目立って見えるのは、東京と比較して数が圧倒的に多いこともあるのかなと考える。東日本大震災の時に公民館がどう対応したかは、長澤研究室が調査しているので、資料になるはず。東京の公民館がそれぞれどういう対応を取ったかというのは研究者としては確かに気になるが、どこでも語れる問題なのかという懸念はある。

(以下、自由討論の意見)

- ・テレビなどの影響で、市民からは「公民館」はとりあえず避難できる場所というイメージを持たれていることも少なからずあると思う。
- ・そこで「公民館はそうした期待にどう答えるか」という問題を考えるという設定もあると思う。
- ・当日の問題も然ることながら、普段から市民とどういう関係を築いているか、という問題も大事だと思う。
- ・普段からの防災講座や避難訓練が重要である。
- ・避難は地震と火災が中心で、雨は想定されてこなかった。
- ・高齢者や引きこもりをされている方々の問題も念頭に入れて行くことが重要。
- ・西東京市では、3・11以降は毎年、全6館で防災講座に取り組んできた。市民とともに自助・共助の力を高めていけるよう、各館ごとにバランスよくさまざまな取り組みを行っている。
- ・例えば「認知症カフェ」をやっている公民館では、普段そこに来られる方々にとって公民館は大事な場所で、そうした方々が防災時にどう行動するかも大切な視点である。
- ・「それぞれの公民館ではどんな取り組みをしているか」を意見交流することと

事例発表があるといいのでは。

- ・職員部会としては現場の危機感を踏まえたテーマを掲げるべきだと思う。
- ・災害時にはそのまちの機能があぶり出されることになるのではないかと思う。それを踏まえてこれからの公民館のあり方を考えるというのもあるだろう。
- ・他市の事例発表なしで行うこともできると思うが、例えばハザードマップをとりあげるなど、内容によって助言者と別に専門家をお願いする必要もある。また、そのための準備は必要になってくる。
- ・災害時の公民館とか、公民館職員というのは、「ハコモノ」と「市の職員」でしかないのではないか。むしろ、その後の問題を考えていくべきと考える。
- ・やはり普段からの地域のつながりがあるかどうかという問題は大きい。
- ・平穏時の学習がいざという時に役立つとか、災害の後にどう行動するのか、そうしたことを考えていくことが大切。
- ・防災講座も最近参加者が集まりづらくなってきた中、今回の被災でまた、注目される可能性がある。その際に職員として SDGs も念頭に入れることは大切なのでテーマに「人口減少社会における・・・」はあっていいと思う。

(以上の意見を受けてのまとめ)

「テーマ」は「人口減少社会での災害と公民館・職員の役割」

⇒その後のやり取りで

「人口減少社会での災害における、公民館と職員の役割」となる。

「事例発表」はマンション住民に対する防災の講座などで活躍している西東京市から専門員と防災アドバイザーなども招いて行うこととし、あわせて職員部会からの意見もまとめる。